

試験報告書

依頼者 T & S 健康科学研究所

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検体 銀イオン除菌抗菌剤

表題 抗菌力試験

2017 年(平成 29 年)06 月 02 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

抗菌力試験

1 依頼者

T & S 健康科学研究所

2 検 体

銀イオン除菌抗菌剤

3 試験概要

検体に試験菌液を接種後(以下「試験液」という。), 所定時間後に試験液中の生菌数を測定した。また, あらかじめ予備試験(中和条件の確認)を行い, 検体の影響を受けずに生菌数を測定できる条件を確認した。

4 試験結果

結果を表-1, 試験条件を表-2に示した。また, 培養後の生菌数測定平板を写真-1~6に示した。

なお, 試験液をSCDLP培地で10倍に希釈することにより, 検体の影響を受けずに生菌数の測定ができることを予備試験により確認した。

表-1 試験液の生菌数測定結果

試験菌	対 象	生菌数 (/mL)			
		開始時	30分後	2時間後	24時間後
白癬菌	検 体	—	<10	<10	<10
	対 照	5.2×10^5	—	5.5×10^5	1.1×10^5

保存温度：室温

対照：精製水

<10：検出せず

表-2 試験条件

	試験菌	<i>Trichophyton rubrum</i> TIMM 2659 (白癬菌)
試験菌液	試験菌をPotato Dextrose Agar (Difco) で25 °C ± 1 °C, 10~14日間培養した後、胞子を0.005 %スルホコハク酸ジオクチルナトリウム溶液に浮遊させ、不織布フィルターでろ過後、菌数が10 ⁷ ~10 ⁸ /mLとなるように調製した。	
試験液	検体10 mLに試験菌液0.1 mLを接種	
保存条件	30分, 2時間, 24時間 (室温)	
対照	精製水	
中和条件	SCDLP培地 [日本製薬株式会社] で10倍希釈	
生菌数測定	GPLP寒天培地 [日本製薬株式会社], 混釈平板培養法	25 °C ± 1 °C, 7日間培養

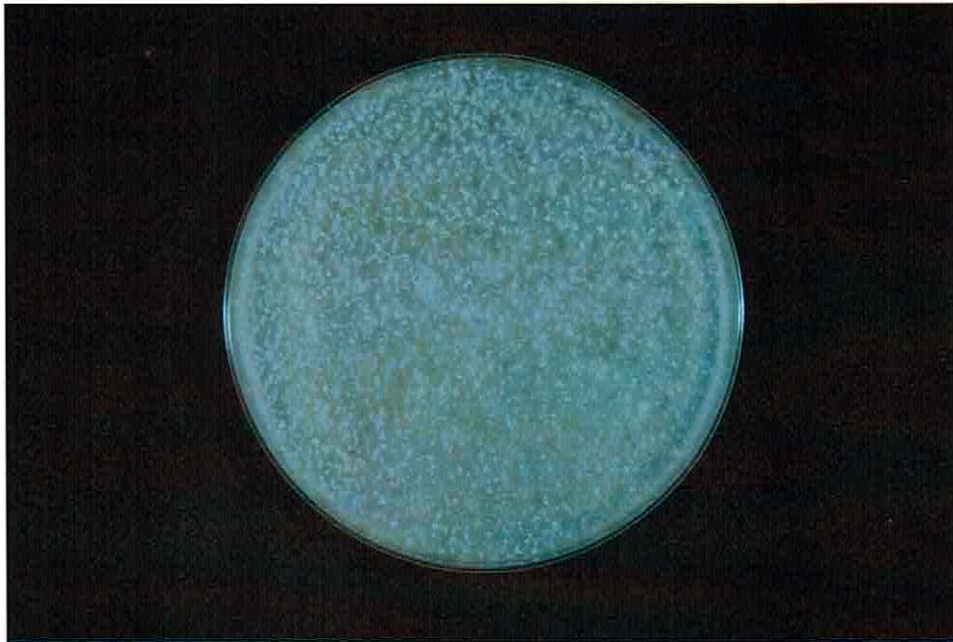


写真-1 白癬菌 対照 開始時
(試験液 0.1 mL)



写真-2 白癬菌 検体 30分後
(試験液 0.1 mL)

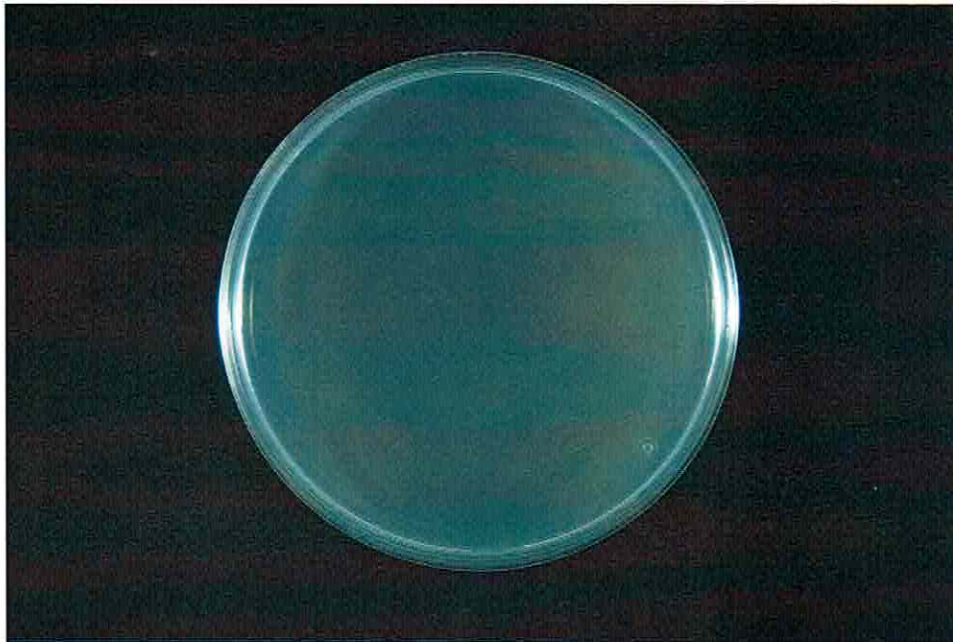


写真-3 白癬菌 検体 2時間後
(試験液 0.1 mL)

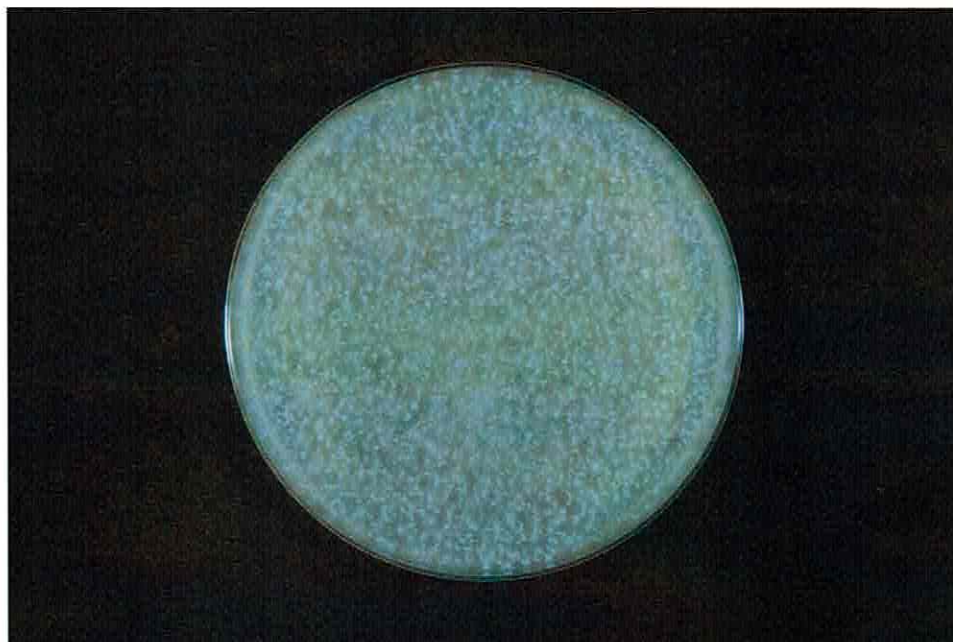


写真-4 白癬菌 対照 2時間後
(試験液 0.1 mL)

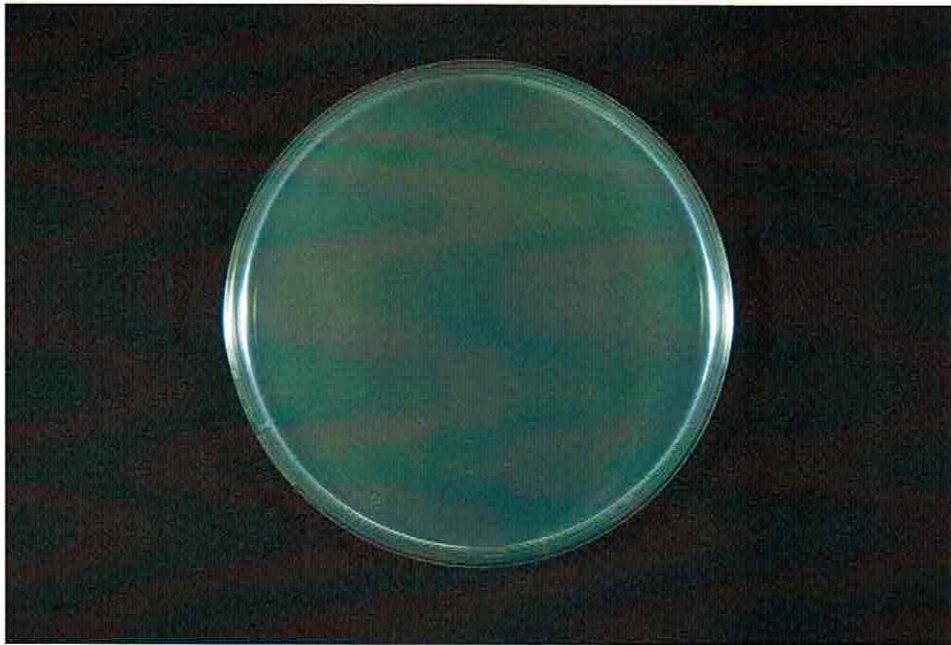


写真-5 白癬菌 検体 24時間後
(試験液 0.1 mL)

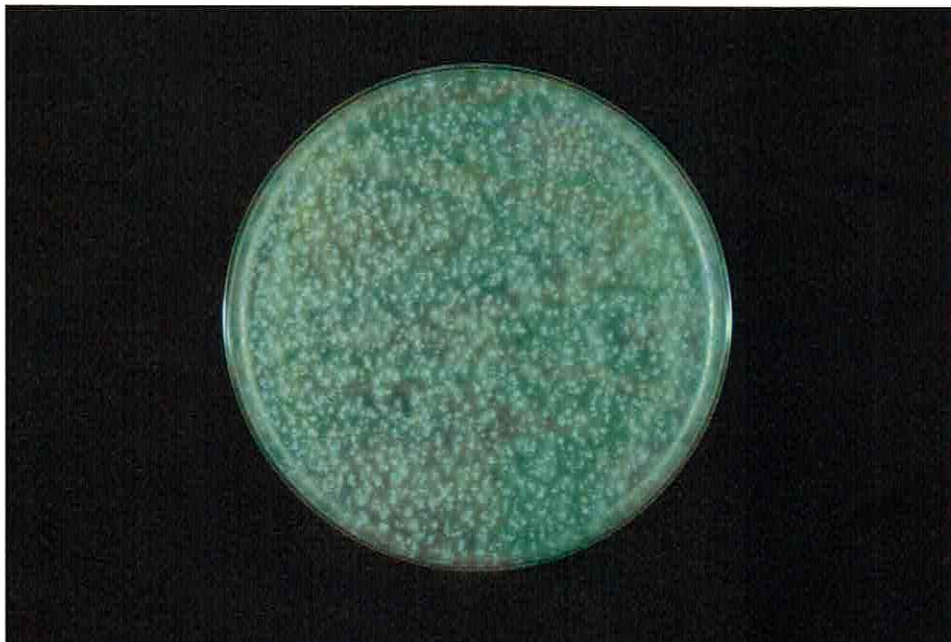


写真-6 白癬菌 対照 24時間後
(試験液 0.1 mL)

以 上